

2006年第2四半期 NAND 型フラッシュメモリ市場マーケットシェアランキング ～ Q2 の NAND 型フラッシュの売り上げダウン～

アイサプライ・ジャパン株式会社（以下：アイサプライ社、東京都中央区京橋、代表取締役社長：ティム・ワン；Tim Wang）は、8月23日2006年第2四半期の NAND 型フラッシュメモリ市場のマーケットシェア・ランキングを発表した。これによると、これまで好調を維持してきた NAND 型フラッシュ市場は、この第2四半期において市場の期待を裏切る結果となった。一方、長期間低迷を続けていた NOR 型と DRAM の分野は好調に転じた。

NAND 型フラッシュの売り上げ減少

全世界における第2四半期の NAND 型フラッシュの売り上げは27億米ドルとなり、これは第1四半期の32億4000万ドルから16パーセントの低減となっている。これとは対照的に、第2四半期の NOR 型フラッシュと DRAM の売上高は、それぞれ6パーセントと16パーセント増加した。

平均販売価格の下落が原因

NAND 型フラッシュの売上減少の主な原因は、フラッシュメモリの平均販売価格(ASP)が33パーセントも下落したことにある。これは、アイサプライ社が3ヶ月前に予測した20パーセントよりも急落している。メガバイト単位での出荷量はアイサプライ社が予測した範囲内ではあるが、25パーセントの増加率は ASP の下落による売り上げ減少を相殺するには十分ではなかった。

2006年全般を通して NAND 型フラッシュのメガバイト単位の ASP の下落は約60パーセントと考えられ、これはアイサプライ社が以前予測した53パーセントを超えるものである。

「NAND 型フラッシュの ASP 下落は、製品の市場への供給過剰、すなわちメーカ各社が需要の成長よりも生産を早めたためである」と、アイサプライ社のディレクター兼首席アナリスト Nam Hyung Kim は述べている。

「一方、NAND 型フラッシュの生産数が大幅に増加したことにより、この第2四半期の総売上は2005年の同時期と比べて21パーセントの順調な増加を見た。したがって、NAND 型フラッシュ市場のすべてのニュースが悪いわけではない」と、Kim は付け加えた。

Hynix が好調

第3位のメーカである Hynix Semiconductor Inc. (以下：Hynix 社) は、第2四半期の NAND 型フラッシュ業界で最も業績がよく、連続して売り上げを伸ばした唯一のメーカである。Hynix 社の NAND 型フラッシュの第2四半期の売り上げは、5億500万ドルに達し、第1四半期の4億8100万ドルから5パーセント増加した。Hynix 社は、マーケットシェアを第1四半期の14.8パーセントから18.5パーセントに伸ばした。

サムスンと東芝は堅調

サムスン電子と東芝は、それぞれ46.4パーセントと24.7パーセントのマーケットシェアを有しており、依然トップを占めている。

下記図表は、アイサプライ社が発表した第2四半期の NAND 型フラッシュ市場でのマーケットシェア・ランキングである。

Q1'06	Q2'06		Q2'06	Q2'06	Q2'06	Q2'06
Rank	Rank	Company Name	Revenue	Percent Market Share	Percent Change from Q1'06	Percent Change from Q2'05
1	1	Samsung	\$1,264.00	46.4%	-20.1%	1.1%
2	2	Toshiba	\$673.00	24.7%	-16.0%	27.2%
3	3	Hynix	\$505.0	18.5%	5.0%	105.3%
4	4	Renesas	\$145.00	5.3%	-15.2%	22.9%
5	5	Micron Technology	\$68.0	2.5%	-28.4%	240.0%
6	6	ST Microelectronics	\$40.0	1.5%	-50.0%	-23.1%
8	7	Intel	\$18.0	0.7%	157.1%	0.0%
7	8	Infineon/Qimonda	\$10.0	0.4%	-61.5%	-77.3%
		Other	\$0.0	0.0%	0.0%	0.0%
		Total NAND Revenue	\$2,723.0	100.0%	-16.0%	20.5%

出典:アイサプライ社

売上高予測を下方修正

「NAND 型フラッシュの売り上げがアイサプライ社の予測を下回ったこともあり、以前に今年度の年間売上高成長予測値を 37 パーセントとしていたものを、15～20 パーセントの範囲に修正しようと考えている」と、Kim は述べている。また「アイサプライ社は、将来の需要が不確定かつ競合も激しくなることから、2007 年の市場予測値を下げるかもしれない。」と付け加える。

NAND 型フラッシュ市場の需要を牽引する分野は常に進化している。2005 年には PM3 プレイヤーが出荷量を押し上げたが、今年は携帯型メディア・プレイヤーと携帯電話が売り上げを牽引している。次に NAND 型フラッシュ需要の大きな牽引力になるであろうと考えられているコンピュータ向けストレージ用途ドライブは、2007 年ではなく 2008 年以降に立ち上がるものと期待されている。

2007 年にはこれといった新しいキラー・アプリケーションが期待薄なこともあり、来年の売り上げ予測は以前に予測した予測値よりも低いものになるであろう、と Kim は警告している。さらに、世界経済の不確実性、顧客の予算削減、エネルギー価格の上昇、および金利上昇のすべては、コンシューマ向けアプリケーションを主とする NAND 型フラッシュ市場のリスク要因となる。

このような状況下ではあるが、アイサプライ社ではこの第4四半期には市況が改善されるものと考えている。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ

アイサプライ・ジャパン株式会社

〒104-0031

東京都中央区京橋 2 - 7 - 14 ビュレックス京橋 2 階

TEL: 03-3562-1580 FAX: 03-3562-1582

URL: <http://www.isuppli.co.jp>

広報部 e-mail: market.info@isuppli.co.jp または

Tim Wang (ティム・ワン) e-mail: twang@isuppli.com